

令和7年2月16日（日）施行

## 第217回 全経簿記能力検定試験 2級 工業簿記 解答

### 第1問

|   |       |   |       |   |       |
|---|-------|---|-------|---|-------|
| 1 | 間接労務費 | 2 | 間接材料費 | 3 | 直接労務費 |
| 4 | 直接材料費 | 5 | 間接経費  |   |       |

### 第2問

|   | 借 方 科 目                 | 金 額                               | 貸 方 科 目          | 金 額                    |
|---|-------------------------|-----------------------------------|------------------|------------------------|
| 1 | 材 料                     | 850,000                           | 当 座 預 金<br>買 掛 金 | 500,000<br>350,000     |
| 2 | 仕 掛 品<br>製 造 間 接 費      | 540,000<br>35,000                 | 材 料              | 575,000                |
| 3 | 仕 掛 品<br>製 造 間 接 費      | 355,500<br>13,500                 | 賃 金              | 369,000                |
| 4 | 仕 掛 品                   | 530,000                           | 製 造 間 接 費        | 530,000                |
| 5 | 製 品                     | 850,000                           | 仕 掛 品            | 850,000                |
| 6 | 現 金<br>売 掛 金<br>売 上 原 価 | 200,000<br>1,200,000<br>1,000,000 | 売 上<br>製 品       | 1,400,000<br>1,000,000 |

### 第3問

#### 直接材料費

|       |    |   |           |       |        |     |           |   |
|-------|----|---|-----------|-------|--------|-----|-----------|---|
| 月初仕掛品 | ？台 | ¥ | 293,000   | 当月完成品 | 4,350台 | ( ¥ | 6,559,800 | ) |
| 当月投入  | ？台 | ¥ | 6,493,000 | 月末仕掛品 | ？台     | ( ¥ | 226,200   | ) |

#### 加工費

|       |    |   |           |       |        |     |           |   |
|-------|----|---|-----------|-------|--------|-----|-----------|---|
| 月初仕掛品 | ？台 | ¥ | 375,300   | 当月完成品 | 4,350台 | ( ¥ | 8,047,500 | ) |
| 当月投入  | ？台 | ¥ | 7,783,200 | 月末仕掛品 | ？台     | ( ¥ | 111,000   | ) |

### 第4問

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | イ | ② | エ | ③ | ア | ④ | オ | ⑤ | ウ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

### 第5問

#### 原価計算表

(単位：円)

| 製造指図書<br>摘要 | #86         | #87         | #88         | 合計            |
|-------------|-------------|-------------|-------------|---------------|
| 月初仕掛品原価     | ( 520,450 ) | —           | —           | ( 520,450 )   |
| 直接材料費       | ( 24,000 )  | ( 157,000 ) | ( 155,900 ) | ( 336,900 )   |
| 直接労務費       | ( 174,720 ) | ( 287,040 ) | ( 99,840 )  | 561,600       |
| 製造間接費       | ( 262,080 ) | ( 430,560 ) | ( 149,760 ) | 842,400       |
| 合計          | ( 981,250 ) | ( 874,600 ) | ( 405,500 ) | ( 2,261,350 ) |
| 備考          | 完成          | 完成          | 仕掛中         |               |

令和 7 年 2 月 16 日（日）施行

## 第 217 回 全経簿記能力検定試験 2 級 工業簿記 解説

### 第 1 問

1. 工員が業務日報を記入するのに要した時間分の賃金は、製品の製造に直接的にかかわった人に支払われる給料ではないため、間接労務費である。
2. 機械にさす潤滑油の金額は、製品の製造に直接的に消費する材料費ではないため、間接材料費である。
3. 工員が機械の設定作業に従事した時間分の賃金は、製品の製造に直接的にかかわった人に支払われる給料であるため、直接労務費である。
4. パルプの消費額は、製品の製造に直接的に消費する材料費であるため、直接材料費である。
5. 機械に対する火災保険料は、製品の製造に直接的にかかわっている経費ではないため、間接経費となる。

### 第 2 問

1. 製品を製造するために素材を購入した場合には、材料勘定を用いて処理をする。  
代金のうち ¥500,000 は小切手を振り出して支払っているため当座預金勘定を用いて処理し、残額は翌月末に小切手を振り出して支払うこととしたため買掛金勘定を用いて処理をする。
2. 素材を製品の製造のために出庫した場合には、直接材料費となり、材料勘定から仕掛品勘定へ振り替える処理をする。  
補助材料を製品の製造のために出庫した場合には、間接材料費となり、材料勘定から製造間接費勘定へ振り替える処理をする。
3. 当月の直接工による就業時間のうち直接作業時間に相当する賃金は、直接労務費となり、賃金勘定から仕掛品勘定へ振り替える処理をする。  
当月の直接工による就業時間のうち間接作業時間に相当する賃金は、間接労務費となり、賃金勘定から製造間接費勘定へ振り替える処理をする。  
間接労務費 清掃作業と手待時間に相当する賃金  
$$(\text{清掃作業 } 10 \text{ 時間} + \text{手待時間 } 5 \text{ 時間}) \times \text{実際消費賃率} @ ¥900 = ¥13,500$$
  
直接労務費 加工時間と段取時間に相当する賃金  
$$(\text{就業時間 } 410 \text{ 時間} - \text{段取時間 } 15 \text{ 時間} - \text{清掃作業 } 10 \text{ 時間} + \text{手待時間 } 5 \text{ 時間}) \\ = \text{加工時間 } 380 \text{ 時間}$$
  
$$(\text{加工時間 } 380 \text{ 時間} + \text{段取時間 } 15 \text{ 時間}) \times \text{実際消費賃率} @ ¥900 = ¥355,500$$
4. 当月の製造間接費実際発生額を各製品に配賦した場合には、製造間接費勘定から仕掛品勘定へ振り替える処理をする。
5. 製品が完成し、倉庫に納入した場合には、完成品の原価を仕掛品勘定から製品勘定へ振り替える処理をする。
6. 製品を得意先に引き渡した場合には、売上勘定を用いて処理をする。代金について得意先振出しの小切手を受け取った金額については、現金勘定を用いて処理をし、翌月末に受け取ることとした金額については、売掛金勘定を用いて処理をする。  
同時に売上原価を計上した場合には、販売した製品の原価を製品勘定から売上原価勘定へ振り替える処理をする。

製品の原価 販売価額 ¥1,400,000 ÷ 140% (原価に 40% の利益を加算しているため) = ¥1,000,000

### 第3問

月末仕掛品原価と当月完成品原価を求める。材料はすべて工程の始点で投入 月末仕掛品の評価は平均法

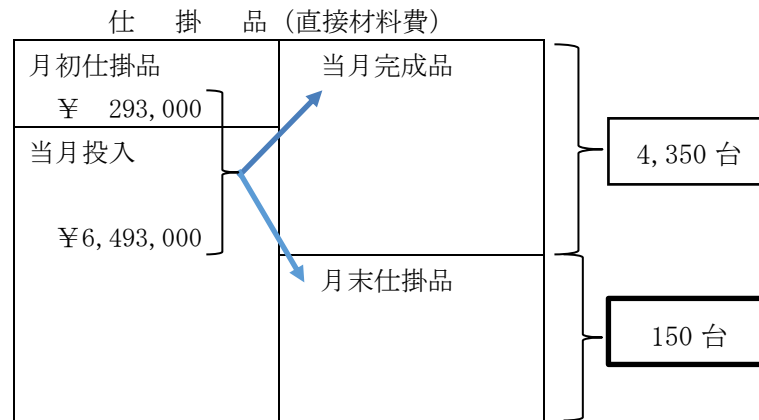
#### 【原価計算表による解説】

| 原価計算表   |         |           |         |           | 単位：円       |
|---------|---------|-----------|---------|-----------|------------|
|         | 数 量     | 直接材料費     | 換算量     | 加工費       | 合 計        |
| 月初仕掛品   | 200 台   | 293,000   | 120 台   | 375,300   | 668,300    |
| 当 月 投 入 | 4,300 台 | 6,493,000 | 4,290 台 | 7,783,200 | 14,276,200 |
| 合 計     | 4,500 台 | 6,786,000 | 4,410 台 | 8,158,500 | 14,944,500 |
| 月末仕掛品   | 150 台   | ①226,200  | 60 台    | ②111,000  | 337,200    |
| 当月完成品   | 4,350 台 | 6,559,800 | 4,350 台 | 8,047,500 | 14,607,300 |

①  $\text{¥}6,786,000 \times 150 \text{ 台} \div 4,500 \text{ 台} = \text{¥}226,200$

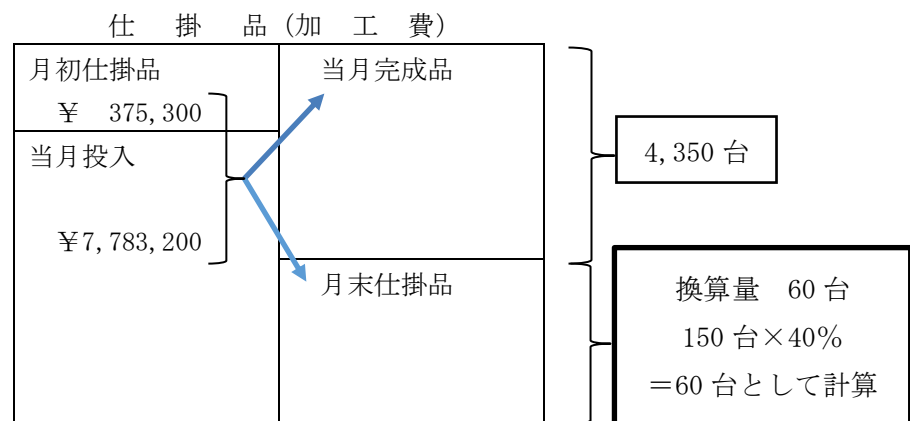
②  $\text{¥}8,158,500 \times 60 \text{ 台} \div 4,410 \text{ 台} = \text{¥}111,000$

#### 【ボックス図による解説】



月末仕掛品原価： $(\text{¥}293,000 + \text{¥}6,493,000) \div (4,350 \text{ 台} + 150 \text{ 台}) \times 150 \text{ 台} = \text{¥}226,200$

当月完成品原価： $(\text{¥}293,000 + \text{¥}6,493,000) \div (4,350 \text{ 台} + 150 \text{ 台}) \times 4,350 \text{ 台} = \text{¥}6,559,800$



月末仕掛品原価： $(\text{¥}375,300 + \text{¥}7,783,200) \div (4,350 \text{ 台} + 60 \text{ 台}) \times 60 \text{ 台} = \text{¥}111,000$

当月完成品原価： $(\text{¥}375,300 + \text{¥}7,783,200) \div (4,350 \text{ 台} + 60 \text{ 台}) \times 4,350 \text{ 台} = \text{¥}8,047,500$

#### 第4問

- ア. 当月の工場長に対する給料消費額  
→ 賃金・給料勘定から製造間接費勘定への振り替えをあらわす。
- イ. 当月に消費された工場消耗品の金額  
→ 材料勘定から製造間接費勘定への振り替えをあらわす。
- ウ. 当月に販売された完成品の原価  
→ 製品勘定から売上原価勘定への振り替えをあらわす。
- エ. 当月の直接工による加工作業に対する賃金消費額  
→ 賃金・給料勘定から仕掛品勘定への振り替えをあらわす。
- オ. 当月の各製品に対する製造間接費実際配賦額  
→ 製造間接費勘定から仕掛品勘定への振り替えをあらわす。

- ① 材料勘定から製造間接費勘定への振り替えをあらわしている。  
これは、材料の消費額のうち間接材料費を意味している。よって、工場消耗品の消費額をあらわしていることになるため、 **イ** となる。

|           |         |
|-----------|---------|
| (借) 製造間接費 | (貸) 材 料 |
|-----------|---------|

- ② 賃金・給料勘定から仕掛品勘定への振り替えをあらわしている。  
これは、賃金・給料の消費額のうち直接労務費を意味している。よって、直接工による加工作業に対する賃金消費額をあらわしていることになるため、 **エ** となる。

|           |               |
|-----------|---------------|
| (借) 仕 掛 品 | (貸) 賃 金 ・ 給 料 |
|-----------|---------------|

- ③ 賃金・給料勘定から製造間接費勘定への振り替えをあらわしている。  
これは、賃金・給料の消費額のうち間接労務費を意味している。よって、工場長に対する給料消費額をあらわしていることになるため、 **ア** となる。

|           |               |
|-----------|---------------|
| (借) 製造間接費 | (貸) 賃 金 ・ 給 料 |
|-----------|---------------|

- ④ 製造間接費勘定から仕掛品勘定への振り替えをあらわしている。  
これは、各製品に対する製造間接費実際配賦額をあらわしているため、 **オ** となる。

|           |           |
|-----------|-----------|
| (借) 仕 掛 品 | (貸) 製造間接費 |
|-----------|-----------|

- ⑤ 製品勘定から売上原価勘定への振り替えをあらわしている。  
これは、製品の販売時に、製品の原価を売上原価勘定に振り替えたことを意味している。  
よって、当月に販売された完成品の原価をあらわしていることになるため、 **ウ** となる。

|             |         |
|-------------|---------|
| (借) 売 上 原 価 | (貸) 製 品 |
|-------------|---------|

## 第5問

### 材 料 元 帳

(先入先出法)

材 料

(単位：円)

| 日 付 | 摘 要        | 受 入   |         |           | 払 出   |         |           | 残 高   |         |           |
|-----|------------|-------|---------|-----------|-------|---------|-----------|-------|---------|-----------|
|     |            | 数量    | 単価      | 金額        | 数量    | 単価      | 金額        | 数量    | 単価      | 金額        |
| 11  | 1 前月繰越     | 50    | (1,200) | ( 60,000) |       |         |           | 50    | (1,200) | ( 60,000) |
|     | 2 出庫(#86)  |       |         |           | 20    | (1,200) | ( 24,000) | ( 30) | (1,200) | ( 36,000) |
|     | 4 仕 入      | 160   | (1,210) | 193,600   |       |         |           | ( 30) | (1,200) | ( 36,000) |
|     |            |       |         |           |       |         |           | (160) | (1,210) | (193,600) |
|     | 5 出庫(#87)  |       |         |           | ( 30) | (1,200) | ( 36,000) |       |         |           |
|     |            |       |         |           | (100) | (1,210) | (121,000) | 60    | (1,210) | ( 72,600) |
|     | 18 仕 入     | 110   | (1,190) | 130,900   |       |         |           | ( 60) | (1,210) | ( 72,600) |
|     |            |       |         |           |       |         |           | (110) | (1,190) | (130,900) |
|     | 25 出庫(#88) |       |         |           | ( 60) | (1,210) | ( 72,600) |       |         |           |
|     |            |       |         |           | ( 70) | (1,190) | ( 83,300) | 40    | (1,190) | ( 47,600) |
|     | 30 次月繰越    |       |         |           | 40    | (1,190) | ( 47,600) |       |         |           |
|     |            | (320) |         | (384,500) | (320) |         | (384,500) |       |         |           |

#### 製造指図書 #86

<前月より製造着手 当月完成>

月初仕掛品原価

【資料2.】より 月初有高 ¥520,450

直接材料費

【資料4.】材料元帳作成より

11/2に出庫した金額 ¥24,000

直接労務費

【解答用紙・原価計算表】直接労務費合計、【資料5.】製造指図書別直接作業時間より

$¥561,600 \div (140 \text{ 時間} + 230 \text{ 時間} + 80 \text{ 時間}) \times 140 \text{ 時間} = \underline{¥174,720}$

製造間接費

【解答用紙・原価計算表】製造間接費合計、【資料6.】直接作業時間を基準として各製造指図書に配賦しているとあるので【資料5.】当月の直接作業時間より

$¥842,400 \div (140 \text{ 時間} + 230 \text{ 時間} + 80 \text{ 時間}) \times 140 \text{ 時間} = \underline{¥262,080}$

合 計

¥520,450 + ¥24,000 + ¥174,720 + ¥262,080 = ¥981,250

#### 製造指図書 #87

<当月より製造着手 当月完成>

直接材料費

【資料4.】材料元帳作成より

11/5に出庫した金額  $¥36,000 + ¥121,000 = \underline{¥157,000}$

直接労務費

【解答用紙・原価計算表】直接労務費合計、【資料5.】製造指図書別直接作業時間より

$¥561,600 \div (140 \text{ 時間} + 230 \text{ 時間} + 80 \text{ 時間}) \times 230 \text{ 時間} = \underline{¥287,040}$

製造間接費

【解答用紙・原価計算表】製造間接費合計、【資料6.】直接作業時間を基準として各製造指図書に配賦しているとあるので【資料5.】当月の直接作業時間より

$¥842,400 \div (140 \text{ 時間} + 230 \text{ 時間} + 80 \text{ 時間}) \times 230 \text{ 時間} = \underline{¥430,560}$

合 計

¥157,000 + ¥287,040 + ¥430,560 = ¥874,600

#### 製造指図書 #88

<当月より製造着手 当月仕掛中>

直接材料費

【資料4.】材料元帳作成より

11/25に出庫した金額  $¥72,600 + ¥83,300 = \underline{¥155,900}$

直接労務費

【解答用紙・原価計算表】直接労務費合計、【資料5.】製造指図書別直接作業時間より

$¥561,600 \div (140 \text{ 時間} + 230 \text{ 時間} + 80 \text{ 時間}) \times 80 \text{ 時間} = \underline{¥99,840}$

製造間接費

【解答用紙・原価計算表】製造間接費合計、【資料6.】直接作業時間を基準として各製造指図書に配賦しているとあるので【資料5.】当月の直接作業時間より

$¥842,400 \div (140 \text{ 時間} + 230 \text{ 時間} + 80 \text{ 時間}) \times 80 \text{ 時間} = \underline{¥149,760}$

合 計

¥155,900 + ¥99,840 + ¥149,760 = ¥405,500